



# 舞鶴税関支署貿易概況

○輸出総額は231億円

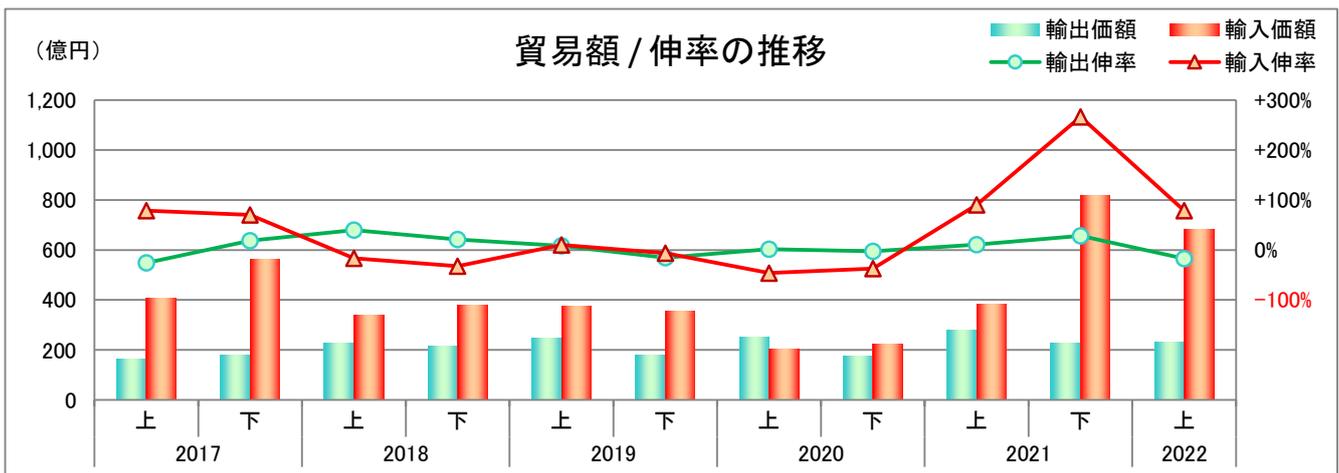
伸率-17.1%で3期ぶりのマイナス

○輸入総額は684億円

伸率+78.6%で3期連続のプラス

○差引額は-454億円

4期連続の入超



## 《 半期別推移 》

年	期	輸出		輸入		差引	
		価額	伸率	価額	伸率	価額	伸率
2017	上	163 億円	-25.9%	405 億円	+78.5%	-242 億円	34.9倍
2017	下	178 億円	+18.8%	561 億円	+70.0%	-383 億円	+112.5%
2018	上	228 億円	+39.8%	338 億円	-16.6%	-110 億円	-54.6%
2018	下	215 億円	+21.0%	379 億円	-32.4%	-164 億円	-57.2%
2019	上	248 億円	+8.5%	373 億円	+10.4%	-126 億円	+14.3%
2019	下	181 億円	-15.6%	355 億円	-6.2%	-174 億円	+6.2%
2020	上	251 億円	+1.5%	202 億円	-46.0%	50 億円	—
2020	下	176 億円	-2.9%	223 億円	-37.3%	-47 億円	-73.2%
2021	上	278 億円	+10.7%	383 億円	+90.1%	-105 億円	—
2021	下	226 億円	+28.4%	816 億円	+266.4%	-590 億円	12.6倍
2022	上	231 億円	-17.1%	684 億円	+78.6%	-454 億円	+331.9%

為替レート: 税関長公示レートの平均値

2022年上半期: 121.36円/ドル(2021年上半期: 107.19円/ドルと比べ13.2%の円安)

- 貿易額は、舞鶴税関支署(宮津出張所を含まない)が管轄する保税地域等に蔵置された貨物の通関額による。
  - 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格で集計
  - 輸出は船舶(航空機)出港の日、輸入は原則として許可の日をもって計上
  - 伸率は対前年同期伸率をいう。
  - この資料についての問い合わせは、舞鶴税関支署(0773-75-9116)までお願いします。
  - 本資料を他に転載するときは、舞鶴税関支署の資料に基づく旨を注記してください。
- ©大阪税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)にも統計資料を掲載していますので御活用ください。

## 主要品別

### 【輸出】

《構成比順》

品目	価 額	伸 率	構成比	寄与度
1. 自動車	98億円	+51.1%	42.6%	+11.9
2. パルプ及び古紙	28億円	+113.8%	12.2%	+5.4
3. 原動機	22億円	-7.1%	9.3%	-0.6
4. 非鉄金属	9億円	+21.5%	3.8%	+0.6
5. 金属製品	6億円	-19.4%	2.6%	-0.5

《貿易額の増減に寄与した品目》

	品目	価 額	伸 率	寄与度
増加品目	1. 自動車	98億円	+51.1%	+11.9
	2. パルプ及び古紙	28億円	+113.8%	+5.4
減少品目	1. 船舶類	1億円	-99.2%	-38.2
	2. 穀物及び同調製品	1億円	-96.4%	-7.5

### 【輸入】

《構成比順》

品目	価 額	伸 率	構成比	寄与度
1. 石炭	560億円	+152.0%	81.8%	+88.1
2. 電気機器	30億円	+28.9%	4.4%	+1.8
3. 木材及びコルク	18億円	+168.7%	2.7%	+3.0
4. 元素及び化合物	10億円	+163.9%	1.5%	+1.7
5. 非鉄金属	9億円	+24.2%	1.3%	+0.4

《貿易額の増減に寄与した品目》

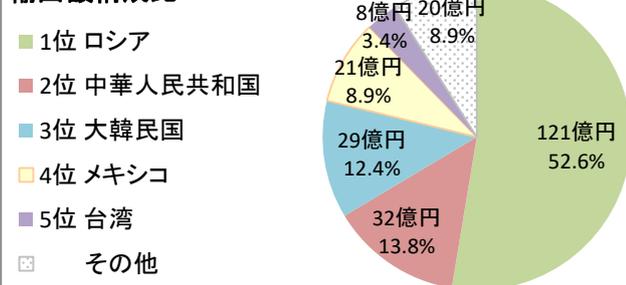
	品目	価 額	伸 率	寄与度
増加品目	1. 石炭	560億円	+152.0%	+88.1
	2. 木材及びコルク	18億円	+168.7%	+3.0
減少品目	1. 原動機	1億円	-97.8%	-17.1
	2. 衣類及び同附属品	3億円	-54.0%	-0.9

## 主要地域(国)別

寄与度とは、全体の伸率に対し、各品目がどの程度寄与したかを示すもの。

寄与度 =  $\frac{\text{個々の品目の当期輸出(入)額} - \text{個々の品目の前年同期輸出(入)額}}{\text{前年同期の輸出(入)総額}} \times 100$

### 輸出額構成比



### 輸入額構成比

